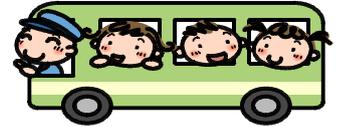




アウトプットすると記憶が深まります。研修旅行で学んだことを家族や後輩に伝えてみましょう。

研修良好!



関西や山陽側には山陰とはスケールの違う工場がたくさんあります。工場内に鉄道施設があったり岸壁があったりと、工場そのものが一つの町のような感じでした。

多くの人が働く場所だからこそ、ルールを定め、ルールを守ることで安全と仕事の精度を高めていることが分かります。高校生には堅苦しく思えるかもしれませんが、安心して気持ちよく働くためには必要なことです。

心理的に安全な職場環境の構築や労働災害を防ぐには、一緒に働くチーム内のコミュニケーションがとても大切です。社員寮などは個室を完備する傾向にあります。研修中はあえて集団生活をさせる企業もあります。昔から「同じ釜の飯を食う」あるいは「寝食を共にする」という言葉があります。共同生活をするのは相手に対する不安や疑いの心を抑制したり、信頼感を深めてくれる効果があり、仲間としての連帯感を深め親しい関係を築く効果があります。実際、寝食を共にする研修期間を経験した人は、その大切さを語ってくれます。どの仕事でも一人で完結することはありません。コミュニケーションが苦手なままでは仕事を上手くこなすことは難しいでしょう。コミュニケーション能力に不安を感じる人は、集団生活を経験できる企業を積極的に選択するのもよいでしょう。

今回の研修ではほとんどの生徒が集合時間前には集まったり、バス降車時にドライバーの方へ挨拶をするなど、マナーの面でも良いところを見ることができました。ある生徒は研修先でスリッパを下足箱から取り出して床に置いて履き、脱ぐ時は脱いだあとにしゃがんでスリッパの向きを変えていました。社会人のマナーを既に実践できる生徒がいることに感心しました。

USJではものづくりで人を幸せにする仕掛けを見つけて欲しいことを事前にお願いましたが、どんな仕掛けに気づきましたか。今月末には米工祭です。人を幸せにする仕掛けを米工祭に活かし、来校される皆さんをハッピーにしてください。

今回の研修旅行での気づきを周囲の人に伝えることで研修旅行の振り返りを実践し、研修旅行を良き経験に仕上げてください。

校長 松川 明義



【行事予定】

- 12日(木)：鳥取県民の日・女子オリエンテーション
- 13日(金)：基礎製図検定
- 16日(月)：敬老の日・就職試験開始
- 週末の大会 山岳部、陸上部、ボート部

